

上期売上高10%伸び

ファステックとの連携に期待

ワールド子会社でEC支援などをを行うファッショソ・ラボは今上期、売り上げが前年同期比10%増と好調に推移し、下期も同様の流れが続いている。9月にワールドとフューチャーの共同出資で設立された新会社ファステック・アンド・ソリューションズ(ファステック)との連動により、来期以降はさらなる増収を見込む。

増収の要因は、ソリューショ

ン事業における複数の既存クラ

イアントのECの伸びが大きか

ったことによる。EC以外で

も、CRM(カスタマー・リレ

ーシヨン・シップ・マネジメン

ト)における「コンサルティング

業務が増え、増収に結びつい

た。

下期は、後ろ倒しになつていたシステム受注の大規模案件が入るほか、ファステック関連の事業が増加する見通しだ。

ファステックでは、成長途上のファッショソ関連企業を対象に、ワールドが長年培つてきた業務標準化フローを軸にしたコンサルティングを行つている。

組織設計から物流設計、情報統括を行い、ワールドの基幹シス

テム、ECシステムを各社にカ

スタマイズした形で設計・導入

を行つ流れとなる。9月のファ

ステック立ち上げ以来、「国内外から依頼の案件が数多く寄せられている」(中嶋社長)とい

う。

ECモール事業のファッショソウオーカーでは、F1層(20歳の女性)に特化したモー

ルの強みを生かし、新たに取り組みとしてタレント発掘プロジェクト「ミライズ」を始動させ

ている。未来と夢の実現に向けて頑張る女子を応援するプロジェ

クトとして、既にギタリスト、ボクサー、シンガーソングライターといった女性たちをサポート。同モールを、F1層の女性たちが集うメディアとして活用し、トラフィック増にもつなげられればとしている。

なお、「強固なファイアウォールをかけてあるため、データが他社に漏れる心配はない」と、ファステック社長を兼務する中嶋篤人(ファッショソ・ラボ社長兼コミュニケーションズデザイン本部長)。

これらをファステックがワン

ストップでデザインし、ファッショソ・ラボが実際の導入を行つ流れとなる。9月のファ

ステック立ち上げ以来、「国内外から依頼の案件が数多く寄せられている」(中嶋社長)とい

う。